

ひきこもりオンライン居場所支援業務



事業内容

目的

対面でのコミュニケーションや外出することが困難なひきこもり状態にある方が、安心して気軽に参加できる居場所をオンライン上に開設し、対面支援へのステップとすることで、社会とのつながりの回復や、他者に関わる能力の向上を目指す。

対象

宮城県内（仙台市を除く）に在住し、義務教育終了後でひきこもり状態（社会的に孤立し、孤独を感じている状態や様々な生きづらさを抱え、他者との交流が希薄な状態）にある者。

内容

- オンライン居場所の開設・運営（仲間づくりや社会とつながるきっかけとなるような交流機会、学びの機会を提供する）
- 定期アセスメントの実施（参加者の状態に応じた効果的な支援を行い、対面支援につなげる）

イメージ図

開設時間

- 週1回以上
- そのうち月1回は17時以降

実施体制

- ①ひきこもりの支援経験等のある管理者
 - ②オンライン居場所を運営できる支援員
 - ③システム及び機器等の相談に対応できる支援員
 - ④対面の相談・居場所等につなぐ支援ができる支援員
- ・上記①～④の人員を配置（兼務可能）

オンライン居場所

- 本人・家族・支援者からの利用申込を受付
- 本人とのオンライン上の面談等
- 利用登録

自宅・自室等からアバターやチャット機能等を活用して他者と交流の場を設置・運営



対面の支援

交流に慣れてきたら、対面の相談・居場所の利用を後押し

対面の交流が辛くなったときはオンライン居場所に対応

